

革新的技術で新たな価値を創造する 住友化学のかたち

経営の資源



住友化学の強み (コア・コンピタンス)

挑むべき課題 (事業機会)

財務資本

健全な財務基盤

■ 2018年度 資本合計: **13,519億円**

製造資本

世界に広がる研究開発・生産拠点

■ 2019年4月1日時点

国内: **11拠点**
海外: **77拠点**

知的資本

総合化学メーカーとして

幅広い製品の開発を通じて培った技術

■ 2018年度

研究開発費: **1,635億円**

■ 2019年4月現在

保有特許件数: **12,659件**

人的資本

高い技術力・ノウハウを持った従業員

■ 2018年度末

連結従業員数: **32,542人**

研究開発人員: **3,937人**

社会・関係資本

長年かけて培った顧客との信頼関係・
海外ネットワーク

■ 2018年度 海外売上収益比率:

64.9%

自然資本

■ 2018年度

水使用量: **944百万トン**

エネルギー(燃料・熱・電力)

総使用量※(原油換算): **1,690千kl**

炭化水素系化合物※: **1,676千トン**

レアメタル除く金属※: **121千トン**

レアメタル※: **14千トン**

※住友化学と国内グループ会社



幅広い技術基盤を
活かした
ソリューション
開発力



グローバル市場への
アクセス



ロイヤリティの高い
従業員

社会課題の解決

- 環境問題
- 食糧問題
- 資源・エネルギー問題

Quality of Lifeの 向上

豊かでやさしい
社会の実現

- 心地良い暮らし
- 健康増進

幅広い技術をもとに成り立つ
5つの事業部門が相乗効果を
生み出し、さらなる成長を目指す

石油化学部門

➤ P44

- ポリエチレン
- ポリプロピレン
- メタアクリル など

エネルギー・機能材料部門

➤ P48

- リチウムイオン二次電池用部材
- スーパーエンジニアリングプラスチック
- 高純度アルミナ など

情報電子化学部門

➤ P52

- 偏光フィルム
- タッチセンサーパネル
- フォトレジスト など

健康・農業関連事業部門

➤ P56

- 農業関連製品
- 生活環境関連製品
- 飼料添加物
- 医薬化学品 など

医薬品部門

➤ P60

- 大日本住友製薬(株)
- 日本メジフィジックス(株)

コングロマリット“プレミアム”で 評価される企業を目指して

これからの社会課題に対するソリューションには、単一の事業や製品だけではなく、色々なものの組み合わせが必要です。

これこそが、5つの事業部門をもつ総合化学メーカーである当社ならではの強みが出せる分野。

コングロマリット(=多種類の事業を営む複合企業)であるからこそ、ディスカウントではなく、プレミアムで評価される企業を目指します。

資本への影響

財務資本

	2017年度	2018年度
コア営業利益(億円)	2,627	2,043
ROE(%)	15.4	12.3
D/Eレシオ(倍)	0.7	0.6

製造資本

- 韓国でフィルム型タッチセンサーパネル製造設備を増強
- メチオニンの新プラントが完成
- 健康・農業関連のグローバルな研究開発拠点(ケミストリーリサーチセンター、バイオラショナルセンター)を拡充
- 田中化学研究所が正極材生産設備の増強を決定

知的資本

- 2018年度 新規特許出願件数(単体): 2,955件
- データサイエンティストやデータエンジニアの確保・育成のため、デジタル革新部を設立

人的資本

	2017年度	2018年度
休業災害度数率(%)	0.26	0.58
リーダーシップ・マネジメント力強化、キャリア開発研修(人) ^{※1}	75	839 ^{※2}
有給休暇取得率(%) ^{※1}	67.2	71.8

※1 住友化学単体 ※2 複数の新規研修を実施

社会・関係資本

- ステークホルダーとの建設的な対話

投資家	2017年度	2018年度
取材対応(人)	340	356
社長スモールミーティング参加人数(人)	32	57
海外投資家訪問件数(件)	44	35
地域住民との対話(回)	40	42

自然資本

- ものづくりと温室効果ガス・廃棄物排出削減の両立

	2017年度	2018年度
温室効果ガス排出量(千トン-CO ₂ e)	7,758	7,258
廃棄物埋立量*(千トン)	21	23

※住友化学と国内グループ会社